

第6学年 国語科指導案

日時：令和元年 6月14日（金）5校時
場所：清水小学校 6年生教室
授業者：竹中 政人

1 単元名：「私と本/森へ」

2 単元の目標

この単元に関わって、学習指導要領には、以下のように、述べられている。

C 読むこと

(1) エ 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。

B 書くこと

(1) ウ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

3 研究内容に関わって

(1) 研究内容Ⅰ「つけたい力を明確にした単元指導計画の工夫」

子どもの出口の姿(評価)を明確にする授業づくり

単元を貫く課題を、「自分の心に残っている理由が伝わるように本を紹介しよう。」と設定する。これを達成するために、以下のことが必要になると考えられる。

・作者や筆者の文章表現のよさや文章構成の巧みさを味わうこと。

「『きよみずガエル君』の文章表現のよさや文章構成の巧みさを味わうこと。白八の田、大規模な表現方法を、

そこで、単元の「きよみずガエル君」を

・筆者の表現の工夫や印象深い場面を見つけることができたかな。

「白八が感傷的な八ふりぬすの仲間へに」とおぼた

と設定し、それを提示することで自らの学習に見通しをもって活動に取り組む。

※単元の「きよみずガエル君」とは、自己評価の視点を明確にし、児童一人一人が見通しをもって単位時間あたりの活動に取り組むために教師が提示するもの。

(2) 研究内容Ⅱ「豊かな表現力を身に付けるための学習過程の工夫」

児童が思考力・判断力・表現力の高まりを自覚するための教師の手立て

① 第3ブロック:まとめる

・深めの発問として「筆者から伝わってきた自然のすばらしさを筆者の表現をもとに発表しよう」と問うことで、筆者の表現の工夫を理解するとともにその表現に対する自他の捉え方を交流する。

② 第2ブロック:深める

・意味段落①から⑤まで「どんな場面か」「どんな筆者の感動があるか」「どんな表現で読者にうったえてくるのか」の3点で読み取っていく活動を繰り返すことで、擬人化、比喻、擬態語などの表現方法の工夫や筆者の思いをそのまま伝える文末表現に気が付く。

・情景を読み取るために、本文と写真を結び付ける。

・筆者自身の問いに筆者が答えている文章構成から、内容理解を深める。

③ 第1ブロック:つかむ

・児童の初発の感想を各意味段落に位置付け、仲間がどんなところに着目したのかをもとに学習課題をつくる。

・意味段落1の場面を読み取る学習で比喻が多く使われていることに気付き、筆者の表現上の特徴の1つとして位置付ける。

※①, ②, ③の順で学習過程を設定するのは、授業の出口を意識し学習過程を考えることで、授業者自身が児童への働きかけを考える授業づくりのためである。

4 単元指導計画 第6学年 「私と本/森へ」 全8時間 A：知識及び技能 B：思考力、判断力、表現力等 C：学びに向かう力、人間性等

単元	単元のきよみずガエル君 ・筆者の表現の工夫や印象深い場面を見つけることができたかな。 ・自分が感じたことを分かりやすく仲間に伝えられたかな。				
次	1		2		
時	1	2	3	4	5
ねらい	自分の読書傾向を読書記録から振り返り、仲間に読んでほしい分野や紹介したい本、作者について伝える方法を考えることができる。	印象的な表現、筆者から伝わってきたことを中心に初発の感想を書き、「森へ」の文章表現を味わう計画を立てることができる。	意味段落2では、五感を使った表現や擬態語、擬声語が多く使われていることに気付き、その効果について自分の考えをもつことができる。	意味段落3では、擬人化を多用して森への恐怖感を表現したり、動物の視点になって森の様子を表現したりしていることがわかる。	意味段落1から意味段落3で学んだ筆者の表現の工夫をもとにして、意味段落4で印象深い表現を選び、その理由を説明することができる。
学習活動	1. 課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">読書記録を振り返り、仲間に紹介したい本や作者を伝えよう</div> 2. 読書記録を振り返る。 3. 自分の読書傾向をつかむ。 4. 心に残っている本を何冊か挙げ、その理由を書く。 5. どんな方法で本の紹介をするのか方法を考える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">自分の願いや思いを効果的に伝えるためには、どんな伝え方をしよう</div> 6. ポップや本の帯の紹介文には、印象深い言葉が使っていることに気付く。 7. 本の魅力や作者の魅力を紹介文やポップに書くことを確認する。	1. 課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">「森へ」の筆者星野道夫さんの表現方法や印象的な場面について感想を書こう</div> 2. 星野道夫さんの紹介をする。 3. 「森へ」の範読を聞き、課題の観点をもとに感想を書く。 4. 感想の交流をする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">意味段落1のアラスカの世界の紹介からは、星野道夫さんのどの本が印象的か</div> 5. 比喩が多く使われていることを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">意味段落1では、比喩が使われていたが、他の場面では、どんな表現が使われているのか</div> 6. 本時のまとめをする。	1. 意味段落2の場面での初発の感想を紹介する。 2. 課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">意味段落2ではどんな表現方法が多く使われているのだろう</div> 3. 意味段落2を音読し、一人読みをする。 4. 気が付いた表現をペアで交流する。 5. さまざまな生き物が自然の中で活動している音が多く表現されていることを確認する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">なぜ、この場面では音を中心に表現しているのだろう</div> 6. 本時のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">生き物が生活している範囲に近づき、音をもとに生物がたくさ</div>	1. 意味段落3の場面での初発の感想を紹介する。 2. 課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">森や森の木々はどのように表現されているのだろう</div> 3. 意味段落3を音読し、一人読みをする。 4. 森や森の木々に関わる表現をペアで交流する。 5. 森への恐怖感が擬人化によって表現されていることを確認する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">筆者は自分がクマの目やリスの目になったような気分になっていないか</div> 7. 本時のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">森や木が擬人化されていることで、こわさを表現している。しかし、筆者はだんだん森に慣れて、森の中で生きる動物のよ</div>	1. 意味段落4の場面での初発の感想を紹介する。 2. 課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">意味段落4で印象深い表現の理由を伝えよう</div> 3. 意味段落4を音読し、一人読みをする。 4. 印象深い表現の工夫をペアで交流する。 5. 印象深い表現とそれ表現を選んだ理由を発表する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">筆者が川に出た場面で自分は何に関する表現に着目したのだろう</div> 6. 本時のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">サケの動き関わる比喩表現、筆者の行動のもととなる内心語に</div>

評価 規準	これまでの読書体験を振り返り、本との付き合い方や読書活動の広め方について考えている。 (発言・ノート)【C】	2つの観点をもとに初発の感想を書くことができ、意味段落1の比喩表現に気付くことができる。 (発言・ノート)【A】	意味段落2では、擬態語、擬声語が多く使われていることに気付き、その表現効果について自分の考えを書くことができる。 (発言/ノート)【B】	森や木々の擬人化の効果が理解できると共に筆者が動物の視点で森を表現していることがわかる。 (発言・ノート)【A】	意味段落4で印象深い表現を選び、その理由を仲間に説明することができる。 (発言・ノート)【B】
並行 読書	つぎ、なにをよむ? 秋山 朋恵 作 (偕成社) キラキラ子どもブックガイド キラキラ読書クラブ (玉川大学出版部)				

4 単元指導計画 第6学年「私と本/森へ」全8時間 A:知識及び技能 B:思考力,判断力,表現力等 C:学びに向かう力,人間性等

単元	単元のきよみずガエル君 ・筆者の表現の工夫や印象深い場面を見つけることができたかな。 ・自分が感じたことを分かりやすく仲間に伝えられたかな。		
次	2		3
時	6 (本時)		8
ねらい	トウヒの種子が倒木の栄養をもらいながら大木に成長し、森をつくっていくことを本文と写真を結びつけて説明し、筆者の感動に共感することができる。	自分の読書生活の中で一番心に残っている本について振り返り、本の帯やポップを書く計画を立てることができる。	「心に残っている場面」「心に残っている表現・言葉」をもとにして、本の帯やポップを作ることができる。
学習 活動	<ol style="list-style-type: none"> 意味段落5の場面での初発の感想を紹介する。 課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">倒木と巨木の間には、どんな物語があるのか読み取ろう</div> <ol style="list-style-type: none"> 意味段落5を音読する。 本文をもとにペア交流で「倒木と大木の写真」の説明をし合う。 ペア交流で「それでやっと分かりました。」が示す内容を「根が足のように生えた不思議な姿の木」の写真をもとに説明し合う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">筆者が「森のこわさは、すっかり消えていきました。」と感じているのは、なぜだろう。</div> <ol style="list-style-type: none"> 本時のまとめをする。 	<ol style="list-style-type: none"> 課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">一番心に残っている本を仲間に紹介す ために本の帯やポップを作ろう</div> <ol style="list-style-type: none"> 自分の読書記録から「思い出の本」を振り返る。 ◇本の選び方 ◇心に残っている場面、絵、写真 ◇心に残っている言葉、表現 「思い出の本」の中から、一番心に残っている本を選ぶ。 どのような帯やポップにするか構想を立てる。 	<ol style="list-style-type: none"> 課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">伝えたい内容をはっきりさせて、本の帯やポップを完成させよう。</div> <ol style="list-style-type: none"> 前時に作った本の帯やポップ案をもとに紹介文をつくる。 自分が紹介したい本を、本の帯やポップを見せながら、班の仲間に伝える。 【班交流】 仲間に本の帯やポップのよさを伝える。 単元の学習を振り返る。 ・これから読んでみたい本。 ・読書の幅を広めたい分野 ・特に興味をもった作家

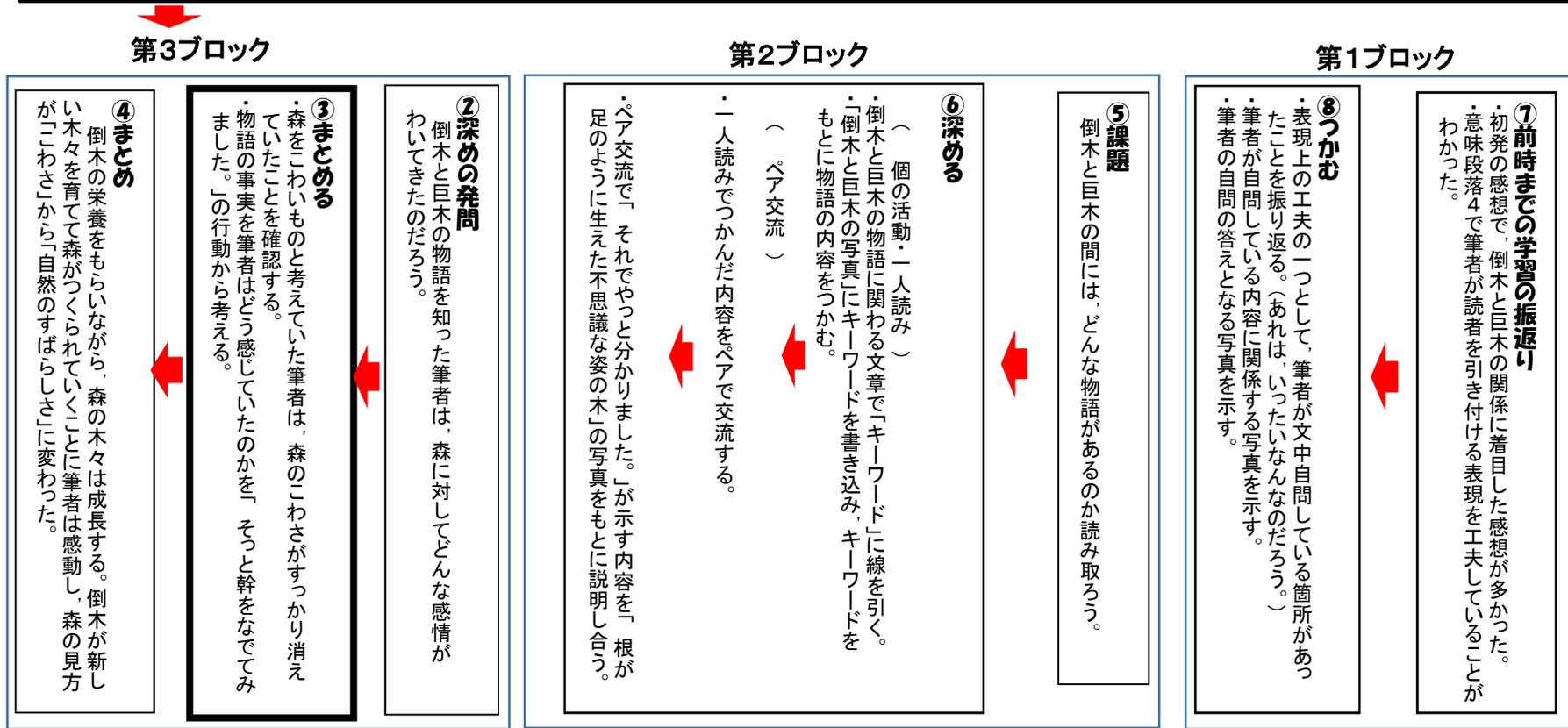
	<p>倒木の栄養をもらいながら、森の大木は成長する。倒木が新しい木々を育てて森がつくられていくことに筆者は感動し、</p>	<p>5. 迷っていることに関わって友達からアドバイスを求める。</p>		
<p>評価 規準</p>	<p>「倒木と大木」, 「不思議な姿の木」の2枚の写真のつながりを本文の叙述をもとに説明することができる。 (発言/ノート) 【B】</p>	<p>自分が紹介したい本の帯やポップを印象深い場面を端的に表す言葉をもとにつくろうとしている。 (本の帯, ポップ案) 【B】</p>	<p>仲間が書いた本の帯やポップのよさを伝え、今後の読書活動の目標を立てることができる。 (発言/ノート) 【C】</p>	
<p>並行 読書</p>	<p>エルマーのぼうけん ルース=スタイルス=ガネット (福音館書店) バッテリー あさのあつこ (角川書店) ぼくの職場は富士山です 近藤 光一 (講談社)</p>	<p>アラスカ風のような物語 星野 道夫 (小学館文庫) 旅をする木 星野 道夫(文春文庫)</p>		

5 本時の展開

1 本時のねらい トウヒの種子が老木の栄養をもらいながら大木に成長し、森をつくっていくことを本文と写真とを結びつけて説明し、筆者の感動に共感することができる。

2 本時の展開

①単元のきよみずガエル君 ・筆者の表現の工夫や印象深い場面を見つけることができたかな。 ・自分が感じたことを分かりやすく仲間に伝えられたかな。



・「そっと幹をなでてみました。」の筆者の行動について話し合う。筆者が倒木に何を語りかけているのかを想像し、言葉にしてみる。
 ・倒木と巨木の物語とその物語を筆者がどのように感じ取っているのかを振り返り、まとめを書く。

・キーワードに棒線を引き、写真にはメモ程度で書き込む。
 ・一人読みの机間指導で「たおれた木は、たくさんの栄養をもっていた」「倒木の栄養をもらいながらゆっくり大木に成長した」に着目できているかを確認する。
 ・机間指導で2枚の写真をつなげて説明できるよう助言する。
 ・本文中の「それでやっとわかりました。」に着目し、意味段落3の疑問がこの場面で解決したことをおさえる。

・意味段落①～⑤に関わる初発の感想を国語コーナーに位置付け、各意味段落を読み進める課題につなげる。
 ・単元のきよみずガエル君のうち、本時が印象深い場面を読み深める時間であることをおさえる。

並行読書 つぎ、なにをよむ？ 秋山 朋恵 作 (偕成社)
 エルマーのぼうけん ルース=スタイルス=ガネット (福音館書店)
 アラスカ風のような物語 星野 道夫 (小学館文庫)

キラキラ子どもブックガイド キラキラ読書クラブ (玉川大学出版部)
 バッテリー あさのあつこ (角川書店) ぼくの職場は富士山です 近藤 光一 (講談社)
 旅をする木 星野 道夫 (文春文庫)